



日本共産党市議団

小野寺幸恵・原 啓司・富岡 隆



小野寺幸恵 議員

●国際リゾート構想推進事業

1、500万円の国際リゾート構想推進事業費が、随意契約（入札などをせずに決定した相手と契約すること）として提案されていることを質疑しました。随意契約は、合理的な理由が必要ですが、市が説明する事業者の評価は「本市の知見が十分ある」「本市の構想に理解を示してくれている」などというもので、「合理的な理由に当たらない」と指摘しました。

また、1、500万円の中身は、すでに約800万円を値引きしてもらった価格のため、「本来、プロポーザルや競争入札で競争性を発揮させて価格を決めるもの」と指摘し、公平性・透明性、さらに競争性も図られていないことを強調しました。

そのうえで、国際リゾート構想推進事業費を抜いた修正予算（修正動議）を提案しましたが、賛成少数で否決しました。



原 啓司 議員

●IR北米視察について

国際リゾート構想推進事業に関して、2016年のIR推進協議会による北米視察について質疑しました。市職員が随行したこの視察には、カジノ事業者が提供したプライベートジェットで移動しているが、「この費用はどかが負担したか」と質疑しましたが、明確な答弁が無かったため、早急の調査と報告を求めました。

報告では、協議会、市ともに、この費用を負担していないことがわかりました。報告を受けておこなわれた総括質疑では、「先方の都合で行程が変更になり、事業者から提供されたプライベートジェットで移動した。公務として随行した市の職員がほかの参加者と違う移動手段を取ることは合理的ではなく、問題はない」と答弁され、これに対し「限りなくグレーであり、道義的にも市民感情的にも認められない」と指摘しました。



富岡 隆 議員

●後期高齢者医療特別会計

保険料の改定により、均等割軽減が廃止されることから市民への影響について質疑しました。担当部局は、「被保険者の47%を超える9、898人が負担増になる。保険料も、2倍、3倍となり影響額は4、400万円を超える負担増になる」と答弁しました。これにより保険料は、一人当たり94、600円となり、生存権すら守れない状況になっています。また、道や国に対し制度の撤回を求めたことに対して副市長は、「全国市長会、全国知事会から国に対し、医療保険制度の一本化に向け要望している」と答えました。

●介護保険事業特別会計

地域包括支援センターの中でケアマネージャーが不足している問題を取り上げ、市が中心となって職員を増やし、担当窓口を設置するなど直ちに支援することを強く求めました。

無所属

議員 高秀 触沢

無所属議員（1人）の代表質問はできない というルールがあり、今定例会では質問の機会はありませんでした。新型コロナウイルスによる影響で会期が大幅に短縮され、令和2年度の予算が可決されました。市民の皆さまが健康で早い終息を願います。

私は、NHK訪問員の被害から市民の皆様をお守りする、という議員であります。この時期、進学や就職等の引越し先でNHK訪問員がやってきます。

特に進学で一人暮らしをされる学生のトラブルが非常に多いです。NHKを見ないのであれば契約する必要はないと考えています。

日々、NHK訪問員のトラブルに対して市民の皆さまのお困り事に対応しております。

今後の議会、議員活動におきまして、苫小牧市民の皆さまの安全安心に寄与できるように努めて参ります。